

ちょうふ環境にゆ〜す

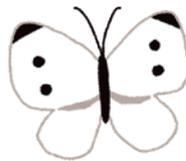
# 未来へつなぐ調布の環境

発行：調布市環境部環境政策課

連絡先：電話 042-481-7086・7 (直通) FAX 042-481-7550

email kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています(トップページ「まちづくり・環境」からご覧ください)。



2022年3月  
第46号

刊行物登録番号  
2021-196

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



## 調布市いきものフォトコンテスト 2021 受賞作品決定！

お知らせ

～感じよう！生物多様性～

調布市では、市内の自然環境の再発見と、生物多様性への理解を深める目的で、2010(平成22)年から「調布市いきものフォトコンテスト」を行っています。12回目の開催となる2021(令和3)年度も、多摩川や里山など、市内に生息する野生の生き物主体の写真を募集しました。

本年度は、多摩川部門、市内部門の2部門で募集を行ったところ、多摩川部門19点、市内部門46点、合計65点の応募をいただきました。

このたび、各応募作品を多摩川自然情報館の2階廊下に展示し、入館者等の投票と専門家の評価の結果、10点を受賞作品に決定いたしました。たくさんの応募、投票をいただきありがとうございました。

なお、多摩川自然情報館においても受賞作品を展示しています。また、過去の受賞作品も一部展示しておりますので、ぜひ御来館ください。



他の受賞作品はこちらから



2021年度多摩川部門 多摩川自然情報館大賞  
タイトル：「白装高僧求法図」 撮影者：関口 耕平さん



2021年度市内部門 多摩川自然情報館大賞  
タイトル：「水鏡」 撮影者：門脇 敏紀さん

## 2050年調布市ゼロカーボンシティをめざして

～地産地消型再生可能エネルギー100%～

お知らせ

調布市は、令和3年4月に市議会と共同して「調布市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、脱炭素社会の実現に向け、太陽光などによる再生可能エネルギーの普及・拡大を率先的に進めています。

この一環として、「調布市公共施設(34箇所)の屋根貸しによる太陽光発電事業」で発電した再エネ電気を、地域新電力会社を通じて調布市多摩川自然情報館で使用する、「地産地消型の再エネ100%電力調達事業」を開始

しました。

再エネは、社会を維持し発展させていくために重要な電源です。自宅に太陽光発電設備を設置するには、クールネット東京や調布市の補助金などを活用できます。また、太陽光発電設備を直接設置できない建物でも、電気事業者を選びなおすことで、再エネを活用できます。

みんなで一緒に、脱炭素社会の実現に向けて一歩を進めましょう。

34の公共施設の屋根貸しによる太陽光発電



調布まちなか発電(株)

※公共施設の屋根貸しによる非営利型太陽光発電事業者



府中・調布まちなか  
エナジー(株)

※地域新電力会社



調布市多摩川  
自然情報館



本事業に係るスキーム(イメージ図)

電気の流れ

調布市  
ホームページへ

# 雑木林ボランティア講座

活動報告

## 第5回「雑木林の恵みを体験」

12月4日(土)に開催した「雑木林の恵みを体験」では深大寺・佐須地区の原風景の変遷について学びました。鎮守の森(明治神宮)・白神山地・奥多摩を比較した解説があり、近年は里山と雑木林の概念が一般には混在して

伝えられている傾向にあるとのお話がありました。

その後、深大寺自然広場(カニ山)への移動中に深大寺自然広場周辺の風景を解説していただきました。かまどでは火熾し体験、花炭作りを体験し綺麗な炭ができました。



講義の様子



広場の風景を観察する様子



かまどでの火熾し



出来た花炭

雑木林ボランティア講座は、調布に今も残る里山の風景や雑木林を、市民と市が協働で保全していくためのボランティア養成講座です。雑木林の維持管理に役立つ知識や技能を習得できます。

参加者募集

毎年4月に、雑木林ボランティア講座の会員を募集しておりますので、興味がある方はぜひお申し込みください。申し込み方法などの詳細は、市報4月5日号または市ホームページをご覧ください。

- 1 日程/年6回程度 ※原則土曜日の午前10時~午後3時開催予定
- 2 対象/野外活動のできる18歳以上の方
- 3 費用/1,500円(ボランティア保険料・テキスト代)

# 調布子どもエコクラブ

活動報告

## 第7回バードウォッチング

1月15日(土)に、多摩川の河原でバードウォッチングを行いました。講師から、双眼鏡と望遠鏡の使い方を教えてもらい、実際に野鳥を観察しました。当日は天

気も良く絶好の観察日和で、オオバンやカモ、セキレイの仲間といった、冬に多摩川にいる鳥を見ることができました。それぞれの体の特徴やえさを食べる様子を観察したり、図鑑で説明を見たりしました。



双眼鏡・望遠鏡を使った観察



観察した野鳥



図鑑を見る様子

調布子どもエコクラブは、河川や緑地などでの自然体験を通じて環境を学ぶ、子どもたちの環境クラブです。毎年4月に、市内の小中学生を対象に調布子どもエコクラブの会員を募集しておりますので、興味がある方はぜひお申し込みください。申し込み方法などの詳細は、市報4月5日号または市ホームページをご覧ください。

参加者募集

- 1 日程/年7回程度 ※土日祝日開催予定
- 2 対象/市内在住、在学の小学1年生~中学3年生 ※小学3年生以下は要保護者同伴
- 3 費用/原則無料(内容によって材料費等の実費負担あり)

# 調布市環境モニター

活動報告

## 第2回国分寺崖線とワサビ田

11月13日(土)にNPO法人東京あぐりの小作明則先生を講師に迎え、国分寺崖線の解説と、三鷹市大沢の里古民家及び縁側のワサビ田を見学しました。

国分寺崖線とは、多摩川が10万年以上かけて武蔵野台地を削り取ってできた段丘(崖の連なり)のことで立川市から大田区まで続き、調布市内を東西に横断しています。斜面地の雑木林は、貴重な自然風景や生きものの生息空間が残る、調布市の特徴的な景観を形成しています。三鷹市大沢の里古民家周辺も貴重な自然

風景が残っており、先生の解説中、野生のタヌキが横切る様子が見られ、参加者からは驚きの声が上がっていました。

ワサビは日本の固有種で、日本では古くから利用されてきましたが、各地に自生していた在来種のワサビは、今ではほとんど残っていないのが現状です。大沢の里古民家は、江戸時代からワサビ栽培を営んでいた農家で、縁側の先には今もワサビ田が広がっています。江戸時代に栽培されていた固有種がそのまま残っている大変貴重なワサビを見学しました。



解説中の様子



三鷹市大沢の里 景観



大沢の里古民家



ワサビ田

調布市環境モニターは、市民と市が協働で市内の自然環境を見守り、自然環境の保全に役立てていこうというグループです。植物観察を中心に、調布の地形、鳥、昆虫などの自然観察を行います。毎回講師の案内で、定期的に観察して歩き、植生などを記録します。

参加者募集

毎年4月に、調布市環境モニターの会員を募集しておりますので、興味がある方はぜひお申し込みください。申込み方法などの詳細は、市報4月5日号または市ホームページをご覧ください。

- 1 日程/年6回程度 ※原則土曜日の午前中開催予定
- 2 対象/18歳以上の方
- 3 費用/無料

## 第13回環境活動交流会～みんなで語ろうちょうふの環境～ (オンライン)

活動報告

調布市は、環境保全活動に取り組む団体・事業者が交流する機会を設けることで、環境保全活動の環(わ)を広げる取組を推進しています。

12月18日(土)に、オンラインを活用し、環境活動をしている市民団体・事業者で交流する環境活動交流会を開催しました。当日は、18の団体・事業者にご参加いただき、各団体の活動紹介や、調布ならではの環境をテーマにした「環境カルタ」読み札の発表を行い、楽しみながら意見交換をしました。



オンライン交流会の様子

### 当日の内容

- ・各団体による活動紹介
- ・環境カルタの読み札(案)発表
- ・意見交換 質問コーナー



環境活動交流会の告知チラシ

### 参加団体

(一社)えねこや  
入間・樹林の会  
カニ山の会  
ここはなの会  
東京ガス(株) 東京西支店  
野川の学校

(一社)生物多様性保全協会  
美しい多摩川フォーラム  
グッドモーニング調布  
多摩川自然情報館  
都立農業高等学校 神代農場部  
身近な川を見守る会

(一社)調布未来のエネルギー協議会  
ELFIN  
原発のない暮らし@ちょうふ  
調布水辺の楽校  
野川で遊ぶまちづくりの会  
若葉緑地の会

# 犬を飼われる皆様へ 犬の登録と狂犬病予防注射を忘れずに！ **お知らせ**

法律により、飼い犬の登録と狂犬病予防注射の接種は飼い主の義務として定められています。

**【飼い犬の登録】** 犬を飼い始めたら、30日以内に登録と鑑札の交付を受けてください。住所や飼い主が変わったとき、飼い犬が亡くなったときも、届出が必要です。

**【狂犬病予防注射】** 狂犬病は、すべての哺乳類がかかる恐ろしい病気です。犬も人も発症すると治療法が無く、ほぼ100%死亡する極めて危険性の高い病気です。犬と人の健康のためにも、毎年4月1日から6月30日\*までの間に狂犬病予防注射を受けさせ、注射済票の交付を受けてください。

※新型コロナウイルス感染症の発生等の影響によるやむを得ない事情を除く

**【周辺環境への配慮を】** 犬は放し飼いにせず、散歩の時も必ずリードにつないで歩きましょう。トイレはなるべ

く散歩の前に済ませましょう。外で排せつしてしまった場合に備え、ビニール袋などを持ち歩きましょう。ふん尿の始末は、飼い主の責任です。犬を飼ったら、適正なしつけで安心、安全に管理し、最後まで責任と愛情をもって終生飼育をしましょう。

**【災害に備えて】** 災害に備えて、ペットの避難について事前に考えておきましょう。避難場所の検討や、日頃からのしつけや健康管理、備品の準備をしておくことが大切です。



## 多摩川クリーン作戦を開催

**参加者募集**

多くの皆様のご協力により、毎年春と秋に行う多摩川クリーン作戦も、通算で84回目となります。

市では「調布市都市美化の推進に関する条例」を平成10年4月に施行し、多摩川の河川敷を「美化推進重点

地区」に指定しています。河川の環境を守り美化を推進するため、皆さんぜひ多摩川クリーン作戦にご参加ください。当日は、動きやすい服装でお越しください。清掃用具は市で用意します。

- 1 日時／令和4年4月10日（日）（予定）  
午前8時～午前9時（少雨決行）
- 2 集合場所／  
○団体参加  
多摩川河川敷の各拠点（のぼり旗で表示）  
○個人参加  
京王相模原線鉄橋下の本部（当日直接会場へ）
- 3 持ち物／軍手（お持ちの方）
- 4 その他／新型コロナウイルス感染症の感染状況により、中止する場合があります。中止の際には、市HPにてお知らせいたします。
- 5 問合せ／環境政策課生活環境係 042-481-7087



令和3年春の様子

## 夏に向けて壁面緑化を始めませんか **お知らせ**

「緑のカーテン」、「グリーンカーテン」とも言われる壁面緑化は建物の外壁や窓の外側をゴーヤやアサガオなどの緑で覆うことをいいます。

この壁面緑化は、夏の日射しを建物の外側でスダレの

ように遮って、熱の透過を弱める働きがあり、室内の温度を下げることができ、節電にもつながります。昨年は、児童館や公民館など10の施設でグリーンカーテンを設置しました。この夏に向けて、壁面緑化を始めてみませんか。



ゴヤたん

市のホームページから「ゴーヤでつくろ緑のカーテン」のパンフレットをダウンロードできるよ！



完熟ゴヤたん

環境政策課の窓口でも、パンフレットを無料で配布しているよ！



パンフレットはこちらから



壁面緑化の様子